

平成三十一年度新入職員宣誓（平成三十一年四月一日）

本日は大変お忙しい中、新入職員歓迎式を開催して頂きまして、誠にありがとうございます。理事長をはじめ、多くの方々のご臨席を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

先ほど、理事長から温かい励ましのお言葉を頂き、深く感銘を受けるとともに、原子力機構の職員となる実感が湧き、身が引き締まる思いがいたしました。またこうして同期の仲間と共に原子力機構の一員として、温かく迎えて頂いたことを心より感謝申し上げます。

福島第一原子力発電所事故から今年で八年が経過しました。これまで原子力機構においても、福島第一原子力発電所の廃炉や福島県の環境回復などの課題に取り組み、成果をあげてきました。一方で残された課題も多く、国民の皆様からの視線が国内唯一の原子力の総合研究機関である、原子力機構に注がれている状況です。

そういった状況の中で、新入職員である私たちは原子力機構の一員として、ミッションである「原子力の未来を切り開き、人類社会の福祉に貢献する」ことを念頭に、日々自身の業務に取り組み、尽力していく所存であります。

私たちは今日、社会人としての第一歩を踏み出します。社会人としての自覚を持ち、常に成長をしていく所存であります。そのために、慢心せず貪欲に知見を吸収しながら、学び続けていきたいと考えております。

しかし、私たち新入職員はまだまだ経験も少なく、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれません。それでも成長し続けるために努力してまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、原子力機構が掲げるスローガンである「高い志、豊かな発想、強い意志」を持ちつつ業務を遂行し、日々精進していく事をここに誓います。

平成三十一年四月一日

新入職員代表 長谷川 涼